

○全国森林環境税創設促進議員連盟

第17回定期総会

7月15日、和歌山県田辺市において、第17回定期総会が開催され、本議員連盟四国ブロック副会長である今井安博議員が出席した。

本議員連盟は平成6年に設立され、現在全国28市町村議会の加盟により、第17年度目の活動期に入った。

国土面積の3分の2を占める森林は、木材等林産物の供給をはじめ、地球温暖化の防止や国土の保全、水源の涵養、土砂災害防止、生物多様性保全、自然環境の保持など、多様な公益的機能を有しており、国民生活と切り離すことのできない貴重な財産である。

この豊かな国土を保全し、未来の子供たちに受け継いでいくことは、森林の恵みを受けて現在を生きる私たち国民に課せられた責務である。しかし、この生命の源である水と空気と土を育み、緑の国

土を守っている我が国の山村は、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足などにより、生業としての林業は衰退を余儀なくされ、極めて深刻かつ危機的な状況にある。

川上の山村と川下の都市は、今こそ手を携えて、この緑豊かな美しい国土と山村を守り、国民一人一人が安心して暮らせる資源循環型社会を実現していく。

かなければならない。本議員連盟は、森林が果たす公益的機能と、その重要性を広く国民に訴えるとともに、森林・林業・山村対策の抜本的な強化を図るため、二酸化炭素排出源を課税対象とする新たな税財源である「全国森林環境税」への早期実現を目指して、全国関係市町村議会が一致団結し、より強力に運動を行っている。



第17回定期総会

○第10回四国土砂防災ネットワーク

議員連盟定期総会開催

8月20日、徳島県三好市において、国土交通省河川局砂防部保全課企画専門官、同省四国整備局河川部長など多数の関係機関の出席のもと四国土砂防懇談会を開催した後、第10回定期総会が開催された。

互いのネットワークをより強固に構築し、関係機関と情報交換を密にしながら、環境保全や森林保全に努め、水害及び土砂災害から住民の生命と財産を守り、豊かで活力ある社会と安全で快適な生活の実

現に向け、砂防事業・地すべり対策事業等土砂災害対策事業に関する予算要望及び土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策に関する法律制定等さまざまな活動を行っている。

平成13年に設立された本議員連盟は、現在36市町村議会の加盟により第10年度目の活動期に入っている。本年度も引き続き四国4県の全市町村議会の加入を目指し、組織加入要請活動を積極的に行うとともに、四国は一つの意識で会員相



第10回定期総会

委員会の動き

○教育民生常任委員会

教育民生常任委員会調査報告

教育民生常任委員長 上池 如夫

教育民生常任委員会は、8月10日に休校校舎の利活用対策に関する調査として、四万十市西土佐において「社団法人 西土佐環境・文化センター四万十楽舎」を視察研修した。



四万十学舎での調査

旧幡多郡西土佐村で、「社団法人 西土佐環境・文化センター四万十楽舎」が運営主体となり、廃校となった中半小学校を活用し、都市と山村との交流拠点と位置付け宿泊機能を持ち、大学のセミナーハウスや修学旅行、屋外授業での活用のほか、地場産業の活性化も兼ね体験学習が行われている。グラウンドではチャイムのない楽舎としてにぎわい、都市部から訪れた子どもたちが思い思いに自由に遊ぶ姿が実に楽しそうであった。

本町では、地域の過疎高齢化とともに児童、生徒

数が減少し完全複式校になるなど、地域の将来を託す子どもたちの良き教育、子育て環境を実現するため統廃合により現在6校の休校校舎が存在している。学校は地域のコミュニティーの場として役割を担ってきた地域住民にとっては一抹の寂しさをもたらすものであるが、現状を嘆くのではなく、再活用をすることによって地域の活性化を進めることが必要であることから、重要な施策として位置付け、福祉施設など有効な利活用方法を模索してきたところである。しかし実現には至っていない。このたび、研修した四万十楽舎は環境学習と文化創造の事業を通じて、地元で地域の価値を再認識してもらい、活性化につなげるのが目的で真の目的を見失わず、地域の協力を得ながら職員が一丸となって真剣に取り組んでいる。こうした四万十楽舎の設立コンセプト及び運営状況を参考にし、本町における休校校舎の有効活用を考えると、賃貸借料、雨漏り等がある休校校舎は、整理をするなど仕分を早急に行う一方、組織横断的に検討し具現化すべきである。

閉会中の継続審査・調査

- 総務産業建設常任委員会
 - 議会基本条例に関する調査の件
 - 大豊町議会議員報酬に関する調査の件
 - 農業用水路の復元に関する調査の件
 - 観光拠点に関する調査の件
- 教育民生常任委員会
 - 福祉に関する件
- 議会運営委員会
 - 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項
 - 議長との諮問に関する事項
- 広報編集特別委員会
 - 広報編集に関する事項

編集後記

今年の夏は、異常気象により猛暑日が続き特筆すべき夏でした。しかし、彼岸を過ぎて朝晩は随分と過ごしやすくなりました。

私は2期4年間にわたり広報編集特別委員として、秀峰の編集に携わってきました。年4回の議会定例会ごとに広報編集特別委員会が招集され、紙面に制約がある中、読みやすく、かつ議会の内容を詳しく伝えることを念頭におき各委員共々編集をしてくれました。今後とも是非多くの町民の皆様にご愛読をいただきますと共に、ご意見がありましたらご一報くださいませようお願いします。

晩秋を迎え寒くなってきましたが、町民の皆様におかれましては、体に十分気をつけられまして、秋の行楽シーズンを満喫してください。

広報編集特別委員会

委員長 藤丸 高徳
副委員長 前田 邦明
委員 佐藤 徳治
委員 上池 如夫
委員 下村 芳章

前田 邦明

大豊議会事務局

【ご意見やご感想は】
読後のご感想ご意見をお寄せください。

電話 72-0450 まで